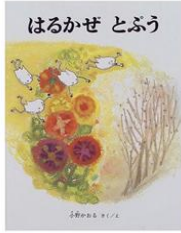




3歳児クラス 4月 第3回 「はるかぜとふう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「春はぼかぼか、気持ち良いね」 保：講師を扇ぐようにとふう「びゅー」と登場。子ども達の所も扇いで見せる。 講：「風が気持ちいいねー。春風って言うんだよ」と興味を持たせてお話を始める。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (とふう) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①季節を感じることは「かげろう」「はるかぜ」や、動物達の表情や動きを感じとれることは「ゆらゆら」「むにやむにやむにや」「めちやめちや」「ちりぢり」等の場面では、子ども達はその状態や言葉を理解し易いように意識して読む。 ②つむじ風が起こる場面や、ライオンが怒る場面は、声の強弱をつけながらダイナミックに表現する。 ③途中「ようちえん」の表記は「ほいくえん」と読み替えて読む。 		<ul style="list-style-type: none"> ペープサート提示 子ども達と一緒になってお話を楽しむ 

かくしゅうタイム

活動①	ねい	運筆力	クレヨンの握り方を確認し、片手で紙をしっかりと押さえ、力強く「ぐるぐる」線を描くことができる	
設問			「ぐるぐる」と言いながら、大小のうずまき（つむじ風）を描きましょう	
つな	まき		<ul style="list-style-type: none"> 講：「とふうの春風は気持ちよかったね」 保：「大変！とふうがまたつむじ風になっちゃったー。びゅー！」と講師や子どもをダイナミックに扇ぐ。(うちわ使用) 	教材
			<ul style="list-style-type: none"> 講：「わあ！大変！でも楽しい！！」 保：次に風に乗って「ゆらゆらゆら・・・びゅー！」とプリントを揺らしながら提示。 講：プリントをキャッチするように受け取り、「そうだ皆でつむじ風起こしちゃおうか」とクレヨンを提示。見本行動。 <ul style="list-style-type: none"> ①クレヨンをしっかりと握る。 ②「片手はポン」をキーワードに、しっかりとプリントを押さえる。 ③「♪小さくぐるぐる（つむじ風）」「♪大きくぐるぐる（つむじ風）」など動きに合わせて大小の声で唱えながらうずまきを描く。 ※この時ぐるぐる描く動きに合わせてエレビでリズムを刻むとより動きが楽しく盛り上がる。 保：プリント、クレヨンを配布。 子：クレヨンのふたを開け、腕まくり、握り方の確認等一連の態勢を整え、講師の号令と共にスタートさせる。 講：途中「スタート」「ストップ」の合図に合わせてながら、ダイナミックに渦巻を描いたり、また優しくゆっくり「そよそよふあ〜」と春風に見立てて長い線、「ぼつぼつ」雨に見立ててタッピング等リズムや描き方に变化を付けて楽しむ。 最後に子ども達の作品を見せ合い「良かったところ」を褒め称賛。「楽しかったね」と達成感をもって終了する。クレヨン、プリントは回収、又は机の前方の邪魔にならない所に片付けるように指示を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> P1 ※提示用はボードなどに貼って準備 うちわ ペープサート(とふう) ★クレヨン
活動内容				保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> とふうを持って強く風を吹かせながら登場 プリント提示 プリント、クレヨンの配布 エレビ演奏 称賛 必要に応じてプリントへの記名補助、クレヨン、プリント回収

活動②	巧緻性	作り方・遊び方の指示を理解して楽しく活動に参加することができる	※実物参照
設問	「くるくるはなびら」を作って飛ばしてみよう		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 保：「今日は良いもの作ってきたんだー」とポケットを覗き込み興味を誘う 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：子ども達の視線が向いたところで「はなびら（完成品）」を提示。子ども達が見やすい高い位置から「くるくる」飛ばして見せる。楽しげに何度か繰り返し興味を引く。 講：「いいなー！先生も作りたいな」 保：「先生も作ってみて」と花びらを提示。 講：完成品の形と比較、その形の違いを確認後（指示書の順番通り）作り方の見本を見せる。完成した花びらを子どもたちの目の前でくるくる飛ばして見せ、作りたい意欲をかきたてて、材料を配布する。 子：講師の見本同様くるくる花びらを完成させる。 講：全員が完成したら指示書の遊び方を参考に環境を整え、子ども達を誘導。安全に配慮して遊び始める。 子：どうしたら綺麗に飛ぶか工夫しながら飛ばしてみる。 講：子ども達からの新しい発見やアイデアが出てきたら皆で共有する。 ※扱い方で途中で切れる子には予備の台紙を配布する。 講：状況を見て「終了」の合図。称賛。花びらは袋に入れ家庭に持ち帰っても、通常の保育の活動に発展させても良い。「今度は外で飛ばしてみようか？」など期待感を持って終了する。 		<ul style="list-style-type: none"> くるくる花びら1人3色各1枚(両面テープ付) 提示用花びら 1コマ1セット 予備用花びら 1コマ5セット 持ち帰り用ビニール袋 作り方指示書 ※提示用に指示書を見て完成品を準備する
			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 花びら飛ばして提示 材料提示、配布 必要に応じて個別指導 安全への配慮 称賛 ビニール袋の配布回収

※数チャレは5月よりスタートします。

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ペープサートを活用することが出来たか
活動①運筆力	大(肘中心)小(手首中心)を意識した渦巻き書き指導が出来たか
活動②巧緻性	全員が1つは自分で作れるようにやる気を引き出すことが出来たか
数チャレ	4月実施なし

楽習タイム♪

*** テーマ ・ 巧緻性 ***

くるくるはなびら作り

せんをはさみで
ちよきちよき!



クリップつけて
くるくる
まわるかな?



1. 写真（左）のような切込み線の入った台紙を作ります
2. 黒い線に沿ってはさみで切込みを入れます。
3. クリップを写真（右）の様な形になる様に下側に付けて完成です。
4. 高い位置からクリップを下にして飛ばしてみよう。
5. クルクル回るように切込みの長さや紙の厚さ、羽の長さを調整してみてください。

色々な紙で作ったり、色々な飛ばし方を提案して楽しみましょう♪



楽習タイム
の動画は
こちら

